

令和 8 年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科 目	ペ ー ジ
日 本 史	2～19
世 界 史	20～39
地 理	42～66
公 民	68～81

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

地 理

〔 I 〕 次の図1は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図「葦山」(2018年発行、原寸、一部改変)の一部であり、中央部には狩野川が北流している。この地形図を見て、以下の問1～問10に答えなさい。解答番号は 1 ～ 11

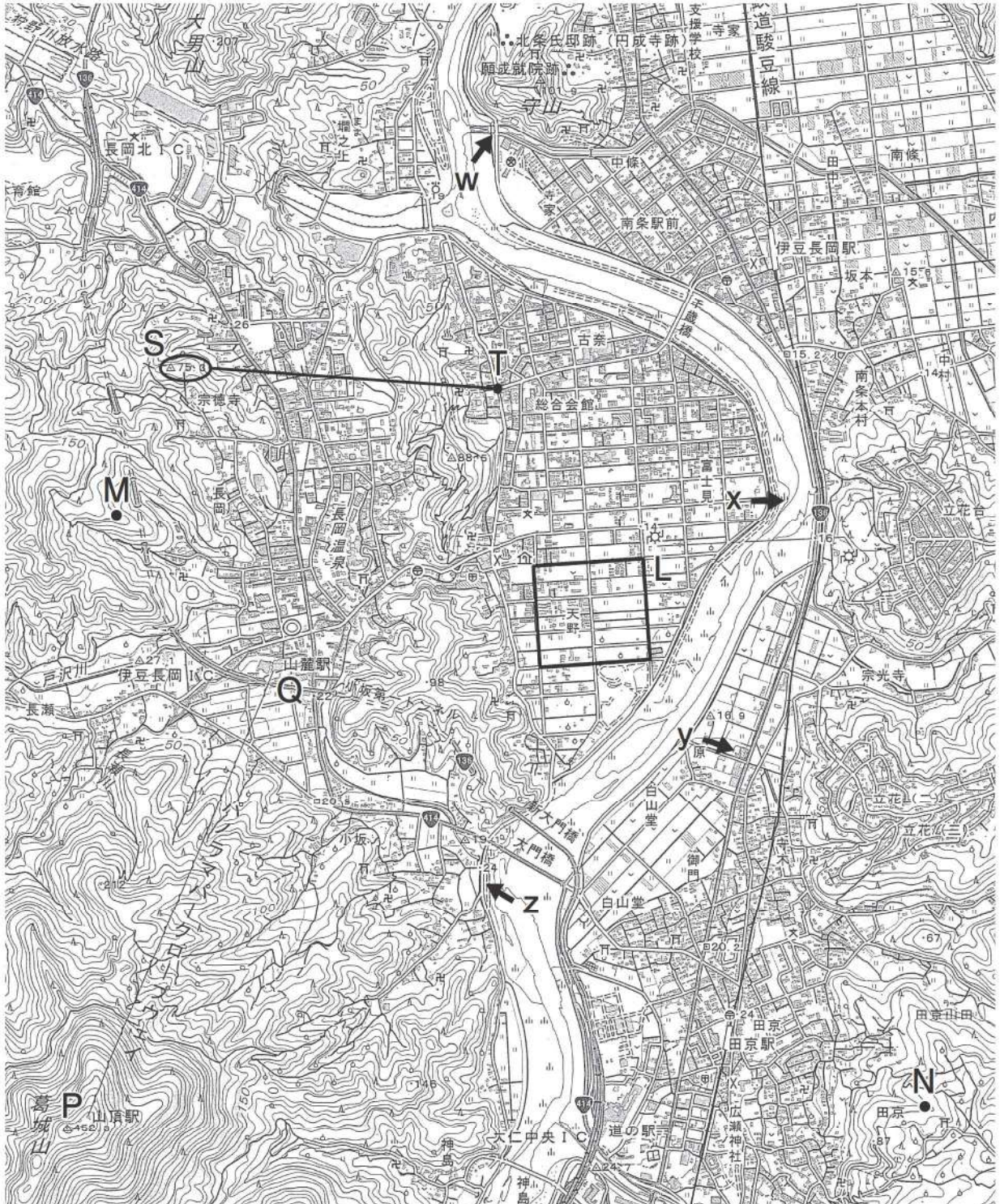


図1

問1 図1の伊豆長岡駅と田京駅間の距離を地図上で計測すると11.3cmであった。
実際の2地点間の距離にもっとも近い値を①～④から1つ選び、マークしなさい。

1

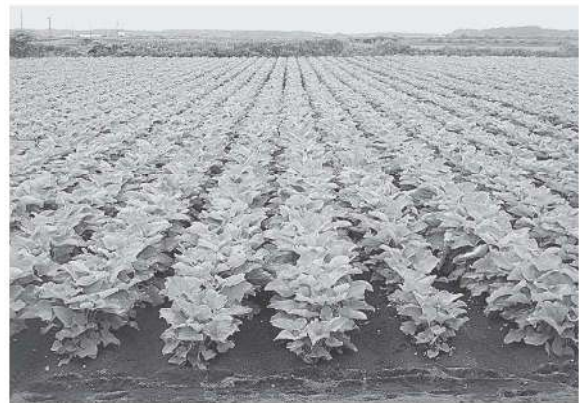
- ① 220m ② 280m ③ 2200m ④ 2800m

問2 図1の区画Lのある天野地区では、普通建物を示す地図記号の他、農業的土地利用を示す果樹園、田、畑の地図記号もみられる。果樹園、田、畑の農業的土地利用の写真ア～ウとその地図記号との組み合わせとして、正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。

2



ア



イ



ウ

	①	②	③	④	⑤	⑥
	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
○	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
∨	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

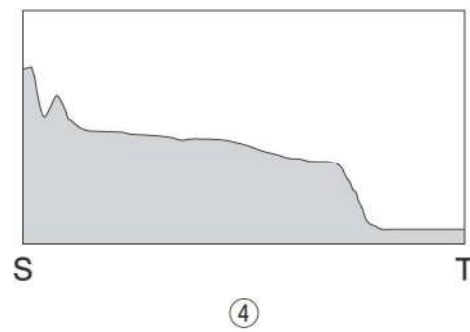
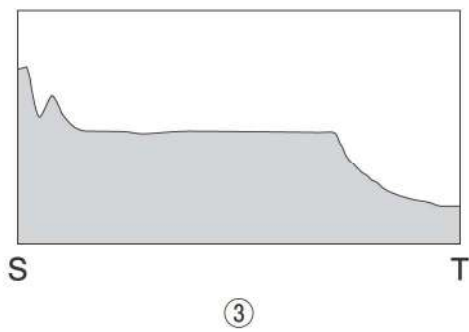
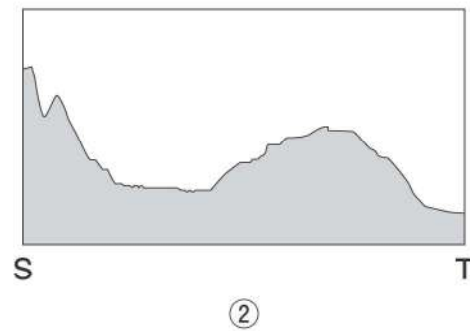
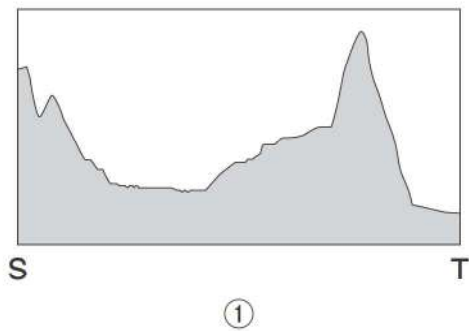
問3 図1の地点Mと地点Nと地形との組み合わせとして、正しいものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **3**

	①	②	③	④
M	尾根	尾根	谷	谷
N	尾根	谷	尾根	谷

問4 図1の地点P（山頂駅）～地点Q（山麓駅）の平均こう配としてもっとも近い値を①～④から1つ選び、マークしなさい。ただし、両地点の地図上の距離は6.8cmである。 **4**

- ① 0.7% ② 13% ③ 24% ④ 41%

問5 地理院地図の断面図作成機能を使って、図1の地点S（標高75.3mの三角点）～地点Tの断面図を作成した。地点S～地点Tの断面図としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。なお、この断面図は高さ方向の倍率を誇張している。 **5**



(「地理院地図」断面図機能を使用 <https://maps.gsi.go.jp/>)

問6 次の図2は、図1の点w～点zのいずれかから矢印の方向に向かって、地理院地図の3D表示機能を使って、地形を立体的に表示させたものである。図2の撮影位置と方向としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。なお、この写真は高さ方向の倍率を誇張している。 6

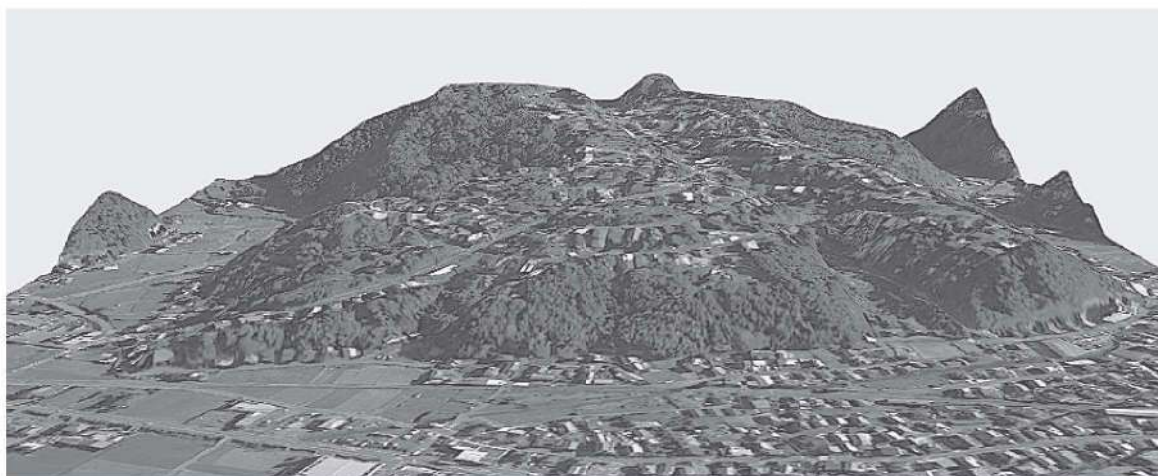


図2
(「地理院地図」3D表示機能を使用 <https://maps.gsi.go.jp/>)

- ① 点w ② 点x ③ 点y ④ 点z

問7 2019年に2万5千分の1地形図図式が一部改正され、正式に自然災害伝承碑の地図記号が制定された。自然災害伝承碑の地図記号を①～④から1つ選び、マークしなさい。 7



(国土地理院2万5千分の1地形図図式による)

問 8 1958年の狩野川台風では、図 1 中に示す範囲内の狩野川においても伊豆長岡駅付近など数か所で破堤した。氾濫による洪水災害に関する次のアとイの説明について、下線部の正誤の組み合わせとしてもっとも適切なものを①～④から 1 つ選び、マークしなさい。 **8**

ア 大雨などにより大量の水が河川に流れ込むと、流量と水位が増して越流や破堤が起こり、河川の水が堤外地へ流れ込む外水氾濫となる。

イ 内水氾濫は、河川の水位が高くなったために排水できない場合と、短時間の強い雨による増水に排水能力が追いつかない場合に起こる。

	ア	イ
①	誤	誤
②	誤	正
③	正	誤
④	正	正

問 9 狩野川台風を教訓として、狩野川流域ではさまざまな防災と減災の取り組みを進めてきた。そこで、次のうち共助の取り組みにあたる説明として、もっとも適切なものを①～④から 1 つ選び、マークしなさい。 **9**

- ① 居住地周辺の手ザードマップを自ら調べて、避難経路や避難場所を確かめる。
- ② 警察、消防、自衛隊などをはじめとする国や地方公共団体が、自然災害発生時を想定して活動や対策を相互に確認する。
- ③ 地域の自主防災訓練に自ら参加して、災害弱者への支援を事前に話し合う。
- ④ 予想される災害に応じて、家族分の水や食料を自ら備蓄する。

問10 次の図3には、地理院地図の「自分で作る色別標高図」の機能を使って、狩野川下流域における標高や地形の様子を表示させた。標高20m以下の地域を標高5mおきに、低い地域の方が濃くなるように着色している。

図3中の工は、図1にも示されている狩野川と狩野川放水路の分岐点である。工の分岐点から狩野川本流のイの河口までの距離は約18km、工の分岐点から狩野川放水路のウの河口までの距離は約3kmである。図3を見て、以下のAとBに答えなさい。

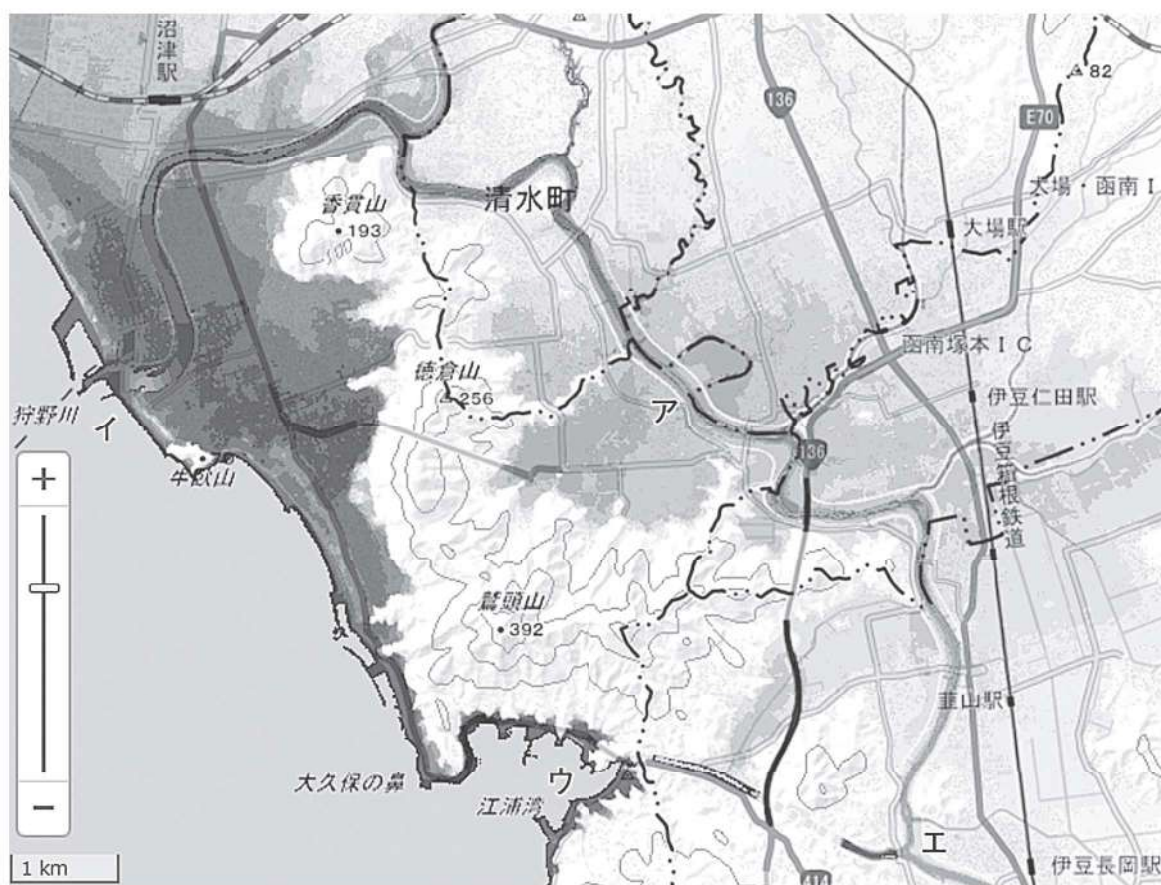


図3

(「地理院地図」自分で作る色別標高図により出題者作成 <https://maps.gsi.go.jp/>)

A. 図3に示した地域の地形に関する次のaとbの説明について、正誤の組み合わせとして最も適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 10

a 狩野川本流の下流部は、狩野川放水路よりも緩やかな河川勾配であると考えられる。

b 図3のアの周辺地域では、周囲よりも標高が低いため自然排水能力が低く、一たび浸水すると浸水継続時間が長くなることが考えられる。

	a	b
①	誤	誤
②	誤	正
③	正	誤
④	正	正

B. 次の図4は、図3のAの周辺を拡大したものである。図4の矢印が指す部分にみられる地形の呼称としてもっとも適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 11



図4
(「地理院地図」自分で作る色別標高図により出題者作成 <https://maps.gsi.go.jp/>)

- ① 潟湖 ② 天井川 ③ 三日月湖 (河跡湖) ④ 水無川

〔Ⅱ〕 貿易と交通について、以下の問1～問5に答えなさい。解答番号は 12 ～
23

問1 世界の貿易構造の変化に関するAとBの間に答えなさい。

A. 文中の空欄ア～ウに入る語句の組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 12

20世紀後半以降の世界の貿易構造の変化を見ると、1960年代頃までの先進国は発展途上国の原料や食料を輸入し、それをもとにした工業製品を輸出する（ア）分業が大半であった。1980年代にはいると、メキシコや韓国などでは輸出指向型の工業が発達し、先進国との間で工業製品を相互に貿易し合う（イ）分業が盛んとなった。さらに2000年代になると、発展途上国への企業移転や世界各地に拠点を置く多国籍企業による（ウ）分業が進み、世界の貿易額は増加傾向が続いている。

	ア	イ	ウ
①	垂直	水平	国際
②	垂直	国際	水平
③	水平	垂直	国際
④	水平	国際	垂直
⑤	国際	水平	垂直
⑥	国際	垂直	水平

B. 文中の空欄工とオに入る語句の組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **13**

第二次世界大戦以前、当時の先進国は植民地などの自国の勢力圏を中心とした経済圏をつくり、域外からの輸入品に高い関税をかける（ 工 ）貿易などの措置により、世界恐慌を乗り切ろうとした。そうした貿易政策は世界を巻き込む戦争の一因になったという反省に基づき、戦後「関税と貿易に関する一般協定」(GATT)が1947年に署名され、輸入制限の撤廃と関税の引き下げを図る（ オ ）貿易を促進してきた。そうした方向性は1995年に発足した「世界貿易機関」(WTO)に受け継がれ、加盟国間の自由で広範な貿易関係を促進している。

	工	オ
①	自由	中継
②	自由	保護
③	中継	自由
④	中継	保護
⑤	保護	自由
⑥	保護	中継

問2 東南アジア諸国の貿易変化について、AとBの問に答えなさい。

A. 表1中のア **14** とイ **15** に該当する輸出品目を①～⑥からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。

表1 東南アジア諸国の主要輸出品の輸出総額に占める割合（単位：％）

インドネシア		タイ	
2003年	2022年	2003年	2022年
機械類 (16.0)	石炭 (18.7)	機械類 (37.3)	機械類 (31.5)
液化天然ガス (10.1)	植物性油脂 (10.6)	イ (5.1)	イ (11.0)
原油 (9.2)	鉄鋼 (9.7)	魚介類 (4.9)	プラスチック (4.3)
ア (6.8)	機械類 (7.4)	ア (4.6)	石油製品 (3.6)
繊維品 (4.8)	有機化合物 (3.8)	天然ゴム (3.5)	野菜・果実 (3.4)

フィリピン		ベトナム	
2003年	2022年	2002年	2022年
機械類 (74.8)	機械類 (63.8)	原油 (19.6)	機械類 (45.7)
ア (6.3)	野菜・果実 (3.5)	ア (15.8)	ア (9.5)
果実 (2.0)	精密機器 (3.2)	魚介類 (12.2)	はきもの (6.6)
石油 (1.5)	植物性油脂 (2.7)	はきもの (11.5)	家具 (3.5)
やし油 (1.4)		機械類 (7.9)	繊維品 (3.0)

（『世界国勢図会 2006/07年版』『世界国勢図会 2024/25年版』により作成）

- ① 医薬品 ② 衣類 ③ かばん ④ コーヒー豆 ⑤ 米 ⑥ 自動車

B. 表2中のウ **16** とエ **17** に該当する輸出相手国名（含む地域）を①～⑥からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。

表2 東南アジア諸国の主要輸出相手国（含む地域）の輸出総額に占める割合（単位：％）

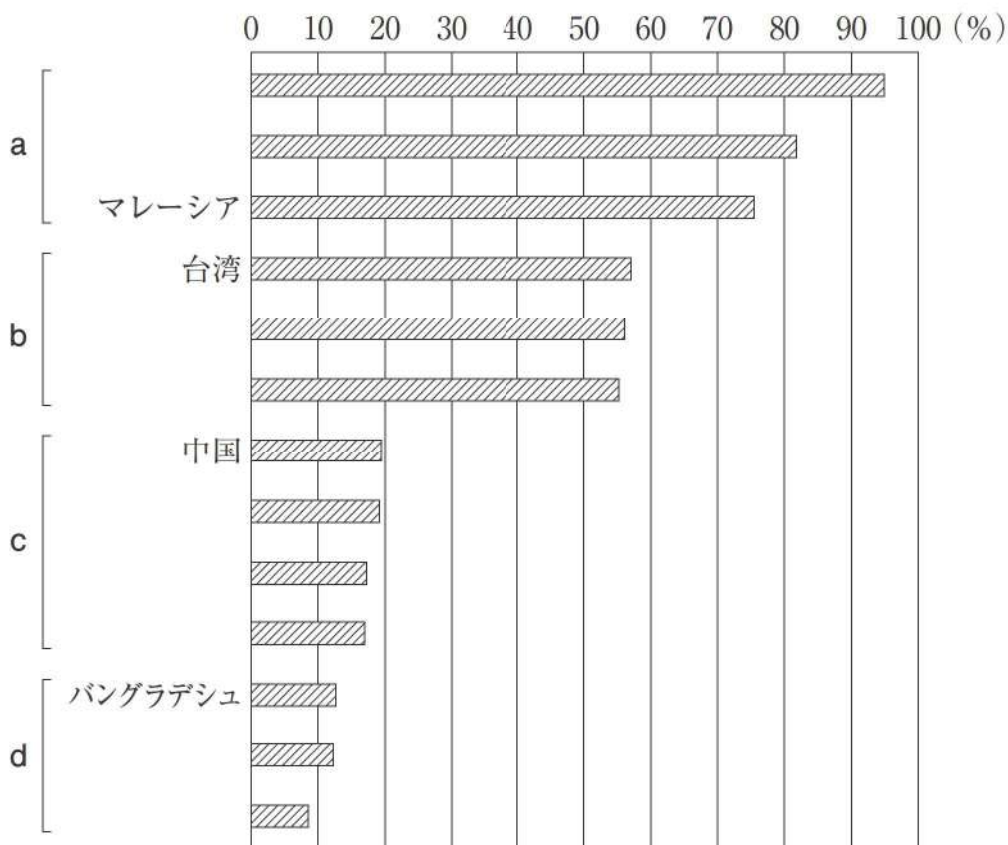
インドネシア		タイ	
2004年	2023年	2004年	2023年
日本 (22.3)	中国 (21.5)	ウ (15.9)	ウ (17.2)
ウ (12.3)	ウ (8.0)	日本 (13.9)	中国 (12.0)
エ (8.4)	日本 (7.8)	中国 (7.3)	日本 (8.7)
韓国 (6.8)	インド (7.6)	エ (7.2)	オーストラリア (4.3)
中国 (6.4)	マレーシア (4.8)	マレーシア (5.4)	マレーシア (4.2)

フィリピン		ベトナム	
2004年	2023年	2003年	2023年
日本 (20.1)	ウ (15.7)	ウ (19.6)	ウ (27.8)
ウ (18.2)	中国 (14.6)	日本 (14.4)	中国 (17.8)
オランダ (9.0)	日本 (14.3)	中国 (9.3)	日本 (6.8)
香港 (7.9)	香港 (12.0)	オーストラリア (7.1)	韓国 (6.6)
中国 (6.7)	エ (4.8)	エ (5.1)	オランダ (3.0)

（『世界国勢図会 2006/07年版』『世界国勢図会 2024/25年版』により作成）

- ① アメリカ合衆国 ② スリランカ ③ 台湾
 ④ カナダ ⑤ シンガポール ⑥ ミャンマー

問3 一般に、国の貿易総額は国内総生産（GDP）の高い国ぐにが上位を占めるが、貿易依存度については中継貿易国や輸出の多角化を図る国ぐにの値が高くなる傾向がある。図1は、アジア諸国（含む地域）の輸出額による貿易依存度（2023年）を示し、a～dの4つにグループ化したものである。この図より、インドとシンガポールの属するグループの組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **18**



（『世界国勢図会 2024/25年版』により作成）

図1 アジア諸国（含む地域）の輸出額による貿易依存度
 （貿易依存度＝輸出額/国内総生産（GDP）×100）

	インド	シンガポール
①	a	b
②	c	d
③	b	c
④	d	a
⑤	c	a
⑥	a	c

問4 日本の貿易を支える輸送手段は、船舶と航空機に限定されている。関連するAとBの間に答えなさい。

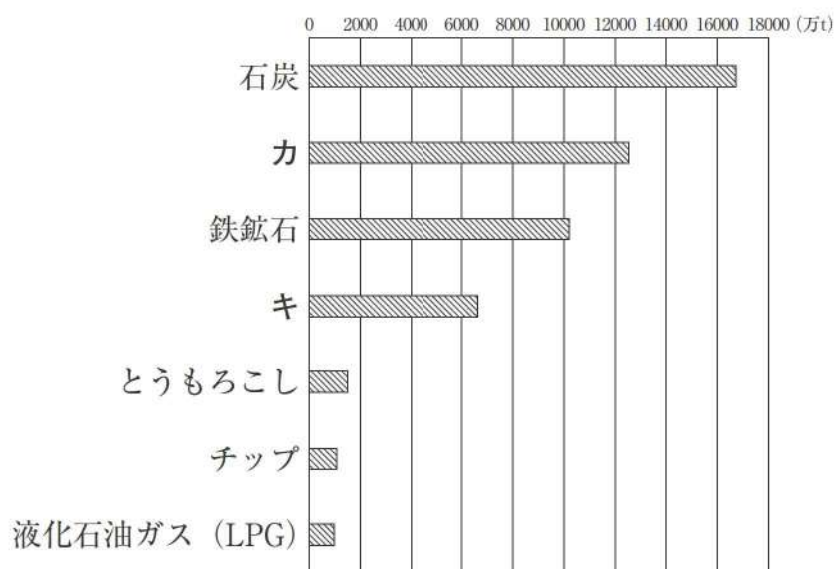
A. 次のア～オの文は、船舶輸送と航空輸送のいずれかの特徴を示している。航空輸送の特徴を示す文の数として正しいものを①～⑤から1つ選び、マークしなさい。

19

- ア 他の交通手段に比較して輸送費が高い。
- イ 時間的制約のある生鮮食品などの輸送にも利用する。
- ウ 重量物の輸送に適している。
- エ 時間距離の短い輸送方法である。
- オ 地形や水陸分布の制約を受けやすい。

- ① 1つ ② 2つ ③ 3つ ④ 4つ ⑤ 5つ

B. 図2は、2023年の船舶による日本の主な輸入品目を重量に基づき表している。グラフ中のカ20とキ21の品目名を①～⑥からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。



(『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』により作成)

図2

- ① 液化天然ガス (LNG) ② 機械類 ③ 原油
 ④ 銅鉱 ⑤ 肉類 ⑥ ポーキサイト

問5 図3は世界の主要船舶航路の要衝の位置を示している。この図のア 22 とイ 23 に当てはまる名称を①～⑧からそれぞれ1つずつ選び、マークしなさい。



図3

- | | | | |
|---------|------------|----------|-----------|
| ① 喜望峰 | ② ジブラルタル海峡 | ③ スエズ運河 | ④ ドーヴァー海峡 |
| ⑤ パナマ運河 | ⑥ ホルムズ海峡 | ⑦ マラッカ海峡 | ⑧ ルソン海峡 |

〔Ⅲ〕 南アメリカについて調べた結果について話をしている2人の会話の文章を読み、以下の問1～問11に答えなさい。解答番号は **24** ～ **34**

あおい：南アメリカ大陸は a 赤道の南北に広がっているんだね。

ゆう：西海岸に沿って標高が高いアンデス山脈が南北にのびているよ。

あおい：山脈とその東側の b 地形は場所によって異なっているんだね。

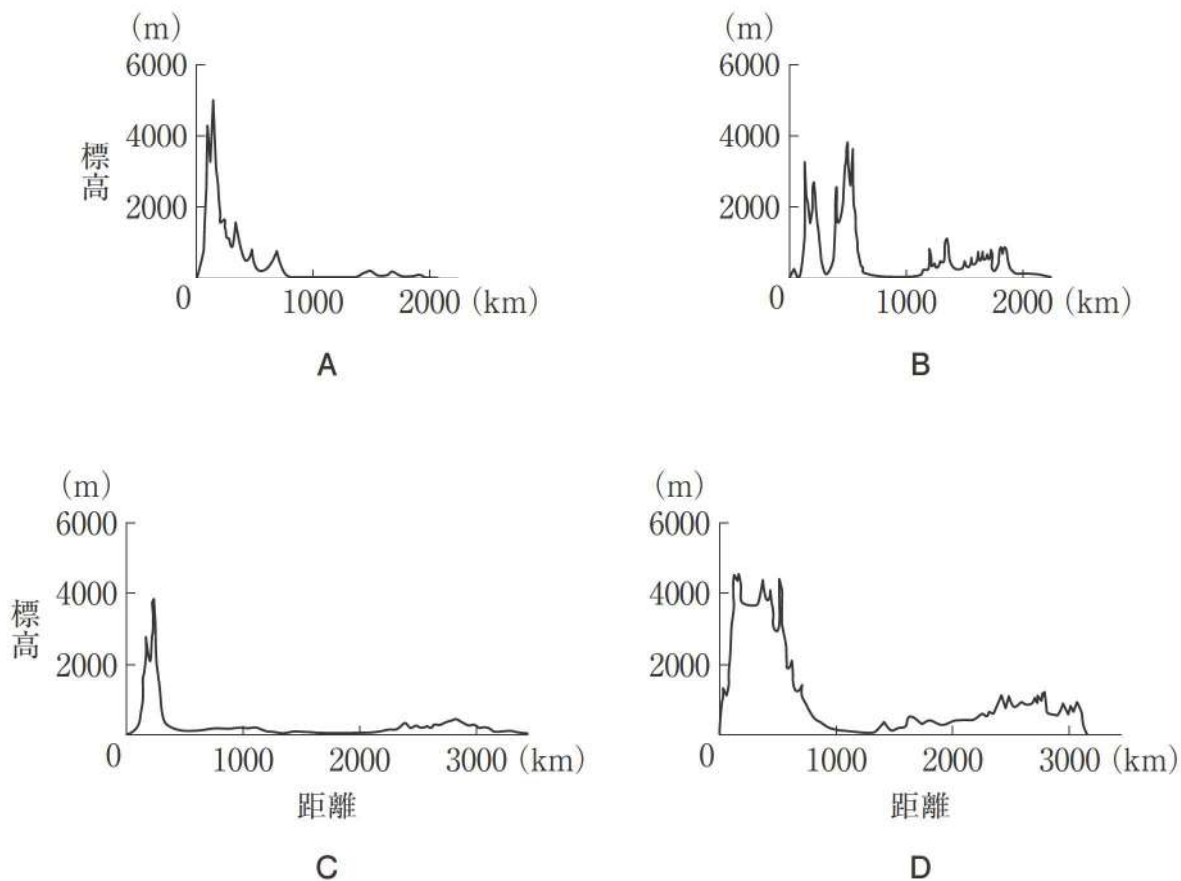


図1

問1 下線部aに関して、図1のア～カは緯線を表している。赤道の位置を①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **24**

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ ⑥ カ

問2 下線部**b**に関して、図2の地形断面A～Dは図1のどの緯線に沿ってつくられたものか。AとBは図1のアまたはオ、CとDは図1のイまたはエにあたる。正しい組み合わせを①～④から1つ選び、マークしなさい。なお、断面図の左が西側にあたり、細かい凹凸は省略してある。また、図1の緯線ごとの距離は正確ではない。 25



(ランドサットSRTM30データを用いてカシミール3Dにより作成)

図2

	①	②	③	④
A	ア	ア	オ	オ
B	オ	オ	ア	ア
C	イ	エ	イ	エ
D	エ	イ	エ	イ

問5 下線部 e に関して、テラローシャの名前の由来となったこの土壌を特徴づける色
を①～④から1つ選び、マークしなさい。 **28**

- ① 赤紫 ② 黒 ③ 茶 ④ 灰白

問6 下線部 f に関して、南アメリカの先住民のインディオが使っている代表的言語の
1つはケチュア語と呼ばれる言語である。ケチュア語が公用語の1つとなっている国
の組み合わせとして正しいものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 **29**

- ① エクアドル・コロンビア ② チリ・アルゼンチン
③ ブラジル・パラグアイ ④ ボリビア・ペルー

あおい：ところで、アンデス地域は場所によって標高差が大きいね。

ゆう：同じような緯度（赤道～南緯4.04度）で g 標高と年平均気温の関係を示す
グラフ（図3）を作ってみたよ。

あおい：標高が3000m違うとずいぶん気温が変わるんだね。

ゆう：栽培されている作物も違うのかしら。

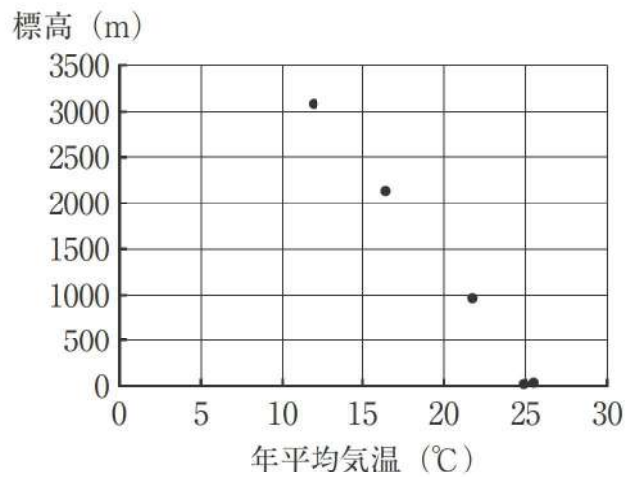
あおい：h ペルー付近の栽培作物と標高の関係を調べて図（図4）を作ってみたよ。

ゆう：トウガラシやピーマン、トマト、とうもろこしはラテンアメリカ（中南ア
メリカ）原産だね。じゃがいもはペルーのアンデス地域原産と考えられて
いるね。

あおい：じゃがいもは毒があるのに加えて、長く日持ちさせることは難しいよ。

ゆう：栽培地域の気候環境を利用した i 独特な毒抜き・保存の技術があるみたい
だね。保存食となったじゃがいもはチューニョと呼ばれているよ。

問7 下線部 g に関して、図3のグラフから読み取れる標高が1000m上昇する時の年平均気温の低下量はおよそどのくらいか。①～④からもっとも近いものを1つ選び、マークしなさい。 **30**



(気象庁ホームページにより作成)

図3

- ① 3.0°C ② 4.5°C ③ 6.0°C ④ 7.5°C

問8 下線部hに関して、図4のペルー付近における断面図上で標高帯タ〜ツと栽培作物の組み合わせとしてもっとも適切なものを①〜⑥から1つ選び、マークしなさい。

31

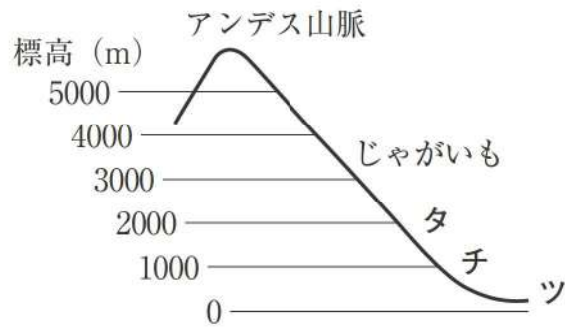


図4

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	コーヒー	コーヒー	とうもろこし	とうもろこし	綿花	綿花
チ	とうもろこし	綿花	コーヒー	綿花	コーヒー	とうもろこし
ツ	綿花	とうもろこし	綿花	コーヒー	とうもろこし	コーヒー

問9 下線部iに関して、この地域で行われているジャガイモの毒を抜いて保存する方法としてもっとも適切なものを①〜④から1つ選び、マークしなさい。 32

- ① 気温の大きな日較差を利用した凍結と融解（解凍）の繰り返し
- ② 1年のうち、ほとんど気温が氷点下であることを利用した冷凍
- ③ 乾燥と気温の高さを利用した日干し
- ④ 湿潤で気温が低いことを利用したチルド

ゆう : 太平洋岸の低地は海に近いにもかかわらずとも、乾燥しているみたいだね。

あおい : 特に南緯10度より南では降水量が少ないようだね。

ゆう : 南アメリカでは大規模な プランテーションによる作物栽培が盛んなんだね。

あおい : コーヒー、とうもろこし、バナナ、サトウキビなどが大規模に栽培されているんだね。

ゆう : これらの生産量はそれぞれの国の面積だけではなく、自然環境と密接にかかわっているようだね。

問10 下線部 j に関して、南アメリカの太平洋沿岸地域の降水量が少ない理由として最も適切なものを①～④から1つ選び、マークしなさい。 33

- ① アンデス山脈から吹き降ろす南東貿易風の影響
- ② 南北両半球から大気が集まる熱帯収束帯の影響
- ③ 安定した大気構造をつくり出す、沿岸を流れる寒流の影響
- ④ 南極から吹き出す冷たい風の影響

問11 下線部kに関して、アルゼンチン、エクアドル、コロンビア、ブラジル、ペルーの主なプランテーション作物のうち、バナナ、コーヒー、サトウキビ、とうもろこしの国別の生産量を次の表に示した。X～Zの国の組み合わせとして正しいものを①～⑥から1つ選び、マークしなさい。 **34**

2023年（万トン）

	X	アルゼンチン	ペルー	Y	Z
バナナ	683	18	242	720	255
コーヒー	341	—	37	0.6	68
サトウキビ	78259	1544	1009	625	3242
とうもろこし	13195	4141	164	141	195

—：データなし

(FAOSTATにより作成)

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	エクアドル	エクアドル	コロンビア	コロンビア	ブラジル	ブラジル
Y	ブラジル	コロンビア	エクアドル	ブラジル	エクアドル	コロンビア
Z	コロンビア	ブラジル	ブラジル	エクアドル	コロンビア	エクアドル